箕輪町こども計画(仮称)策定に向 けた実態調査結果について

1. 住民アンケート調査の概要

1 対象者

- ①町内小学校に通学する小学6年生
- ②町内中学校に通学する中学2年生
- ③町内在住の高校2年生相当の方(平成19年4月2日~平成20年4月1日生まれ)
- ④町内在住の19歳から30歳 (無作為抽出)

2 実施方法

対象者①② 回答フォームを作成し、児童生徒の個別情報端末から回答

対象者③④ 個別に通知を発送し、Webフォームにて回答

3 実施時期

対象者①②は夏休み前までに各校で実施 対象者③④は令和6年6月25日から7月8日

アンケートの回答状況

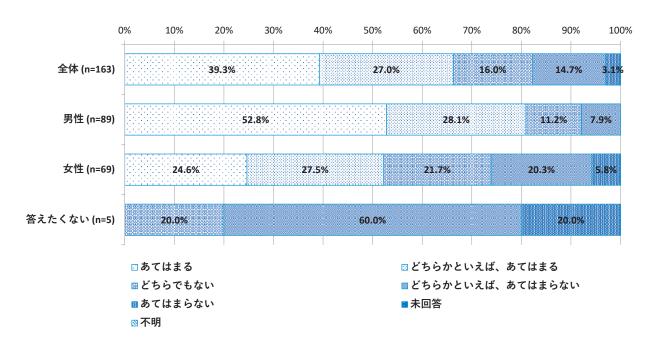
属性	回答数	対象者数	回答率
①小学6年生	163	171	95.3%
②中学2年生	195	238	81.9%
③高校2年生相当	31	249	12.4%
④19歳から30歳	220	1500	14.7%

アンケートの回答概要

- ●こども・若者の自己肯定感はどうなっているか?
- ●困りごとはあるか?
- ●安心できる場所はどこか?
- ●こどもの権利で特に大切なものは?

今の自分に満足している 小学生

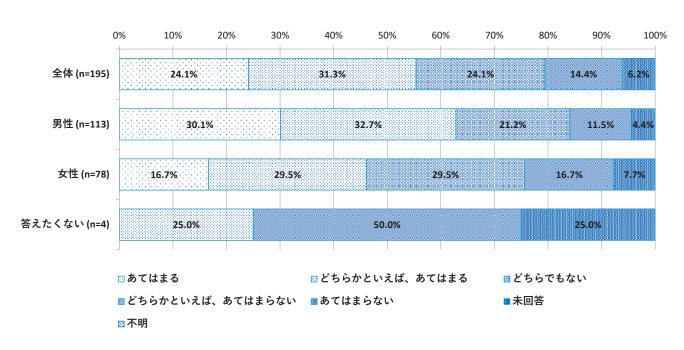
男性の方が今の自分に満足している割合が高い



アンケートの回答概要

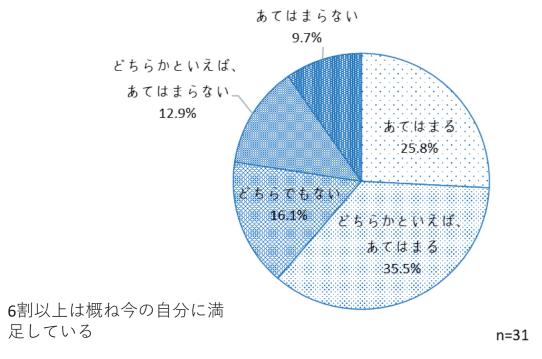
今の自分に満足している 中学生

小学生と同様、男性の方が今の自分に満足している割合が高い



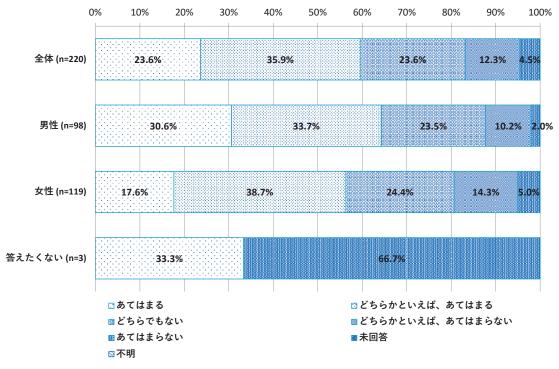
こどもの自己肯定感はどうなっているか?

今の自分に満足している 17歳



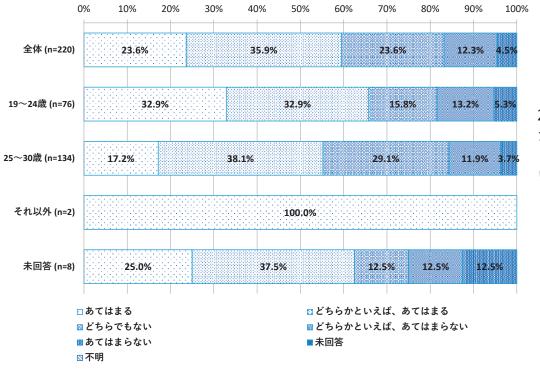
アンケートの回答概要 **今の自分に満足している 若者**

男性の方が今の自分に満足している割合が高いが、小中学生ほど差はない



若者の自己肯定感はどうなっているか?

今の自分に満足している 若者



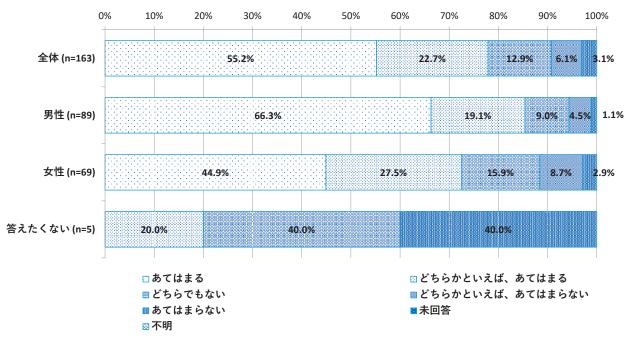
20代前半までの方 が今の自分に満足 している割合が高

アンケートの回答概要

こどもの自己肯定感はどうなっているか?

自分のことを大切に思える 小学生

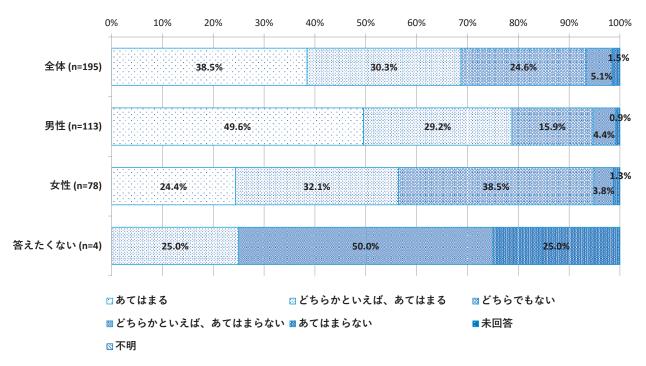
男性の方が自分のことを大切に思っている割合が多い



こどもの自己肯定感はどうなっているか?

自分のことを大切に思える 中学生

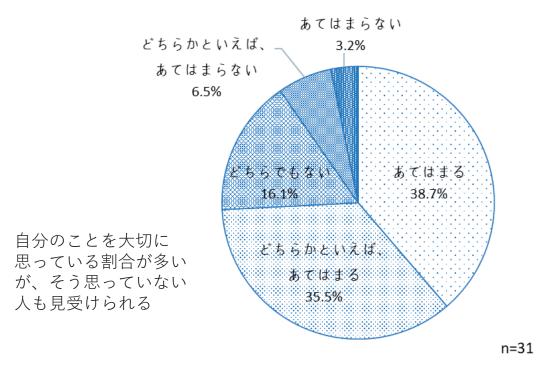
小学生と同様、男性の方が自分のことを大切に思っている割合が多い



アンケートの回答概要

こどもの自己肯定感はどうなっているか?

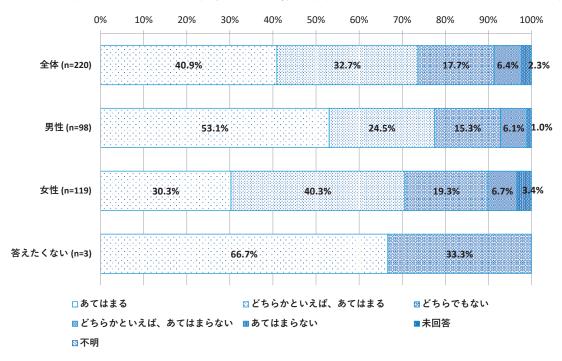
自分のことを大切に思える 17歳



若者の自己肯定感はどうなっているか?

自分のことを大切に思える 若者

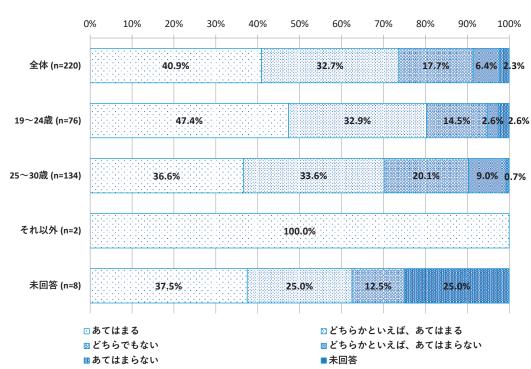
性別で見ると小中学生ほど概ね自分のことを大切に思っている割合に差はない



アンケートの回答概要

若者の自己肯定感はどうなっているか?

自分のことを大切に思える 若者

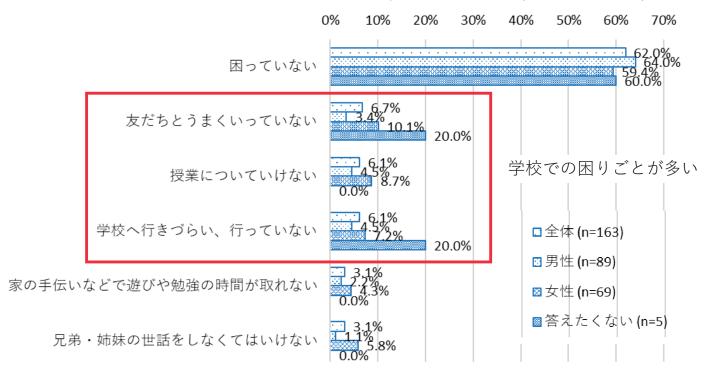


20代前半までの方が自分のことを大切に思っている割合が高い

⊠不明

困りごとはあるか?

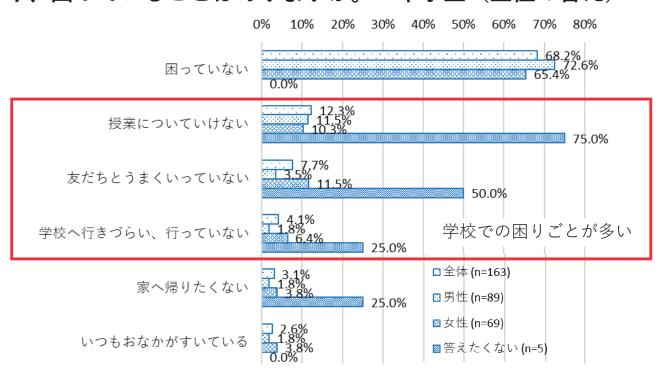
今、困っていることはありますか。 小学生(上位の答え)



アンケートの回答概要

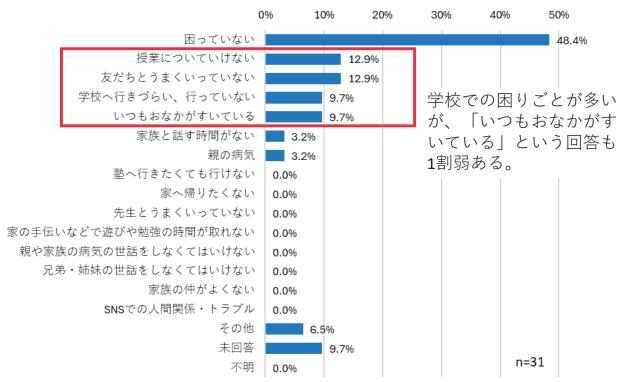
困りごとはあるか?

今、困っていることはありますか。 中学生 (上位の答え)



困りごとはあるか?

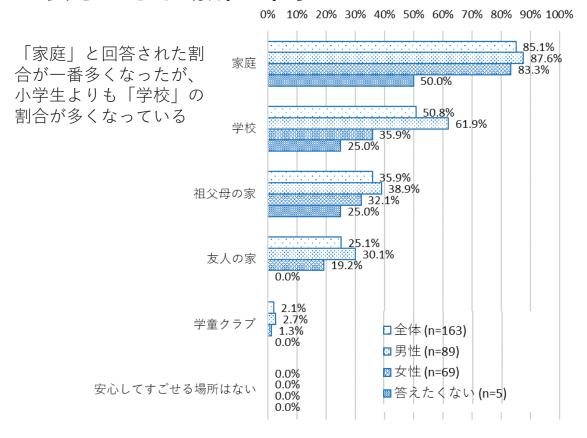
今、困っていることはありますか。 17歳 (上位の答え)



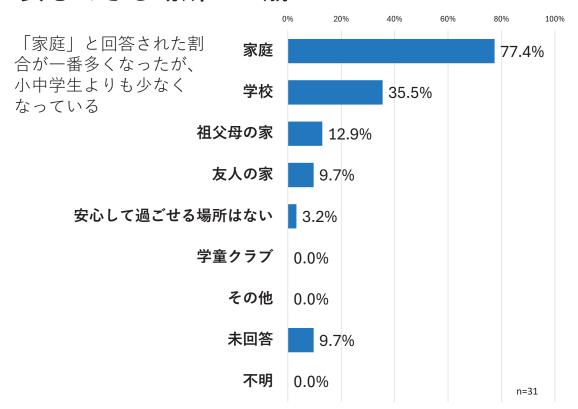
アンケートの回答概要 安心できる場所 小学生

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% 88.3% 「家庭」と回答された割 89.9% 家庭 87.0% 合が一番多くなった 80.0% 40.5% 41.6% 学校 42.0% 0.0% 35.6% 41.6% 友人の家 29.0% 20.0% 30.1% 28.1% 31.9% 祖父母の家 40.0% 3.7% 4.5% 2.9% 学童クラブ 0.0% □全体 (n=163) ☑男性 (n=89) 0.6% 図女性 (n=69) 0.0% 安心してすごせる場所はない 1.4% ■答えたくない (n=5) 0.0%

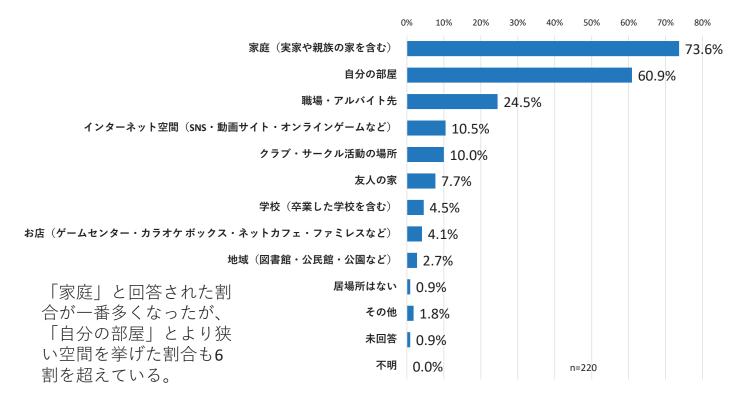
安心できる場所 中学生



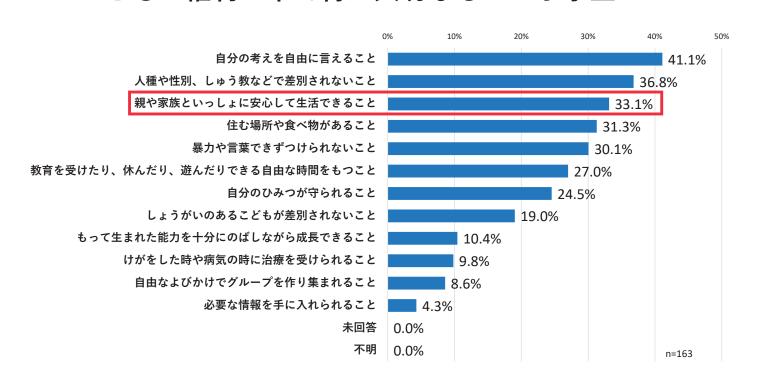
アンケートの回答概要 **安心できる場所 17歳**



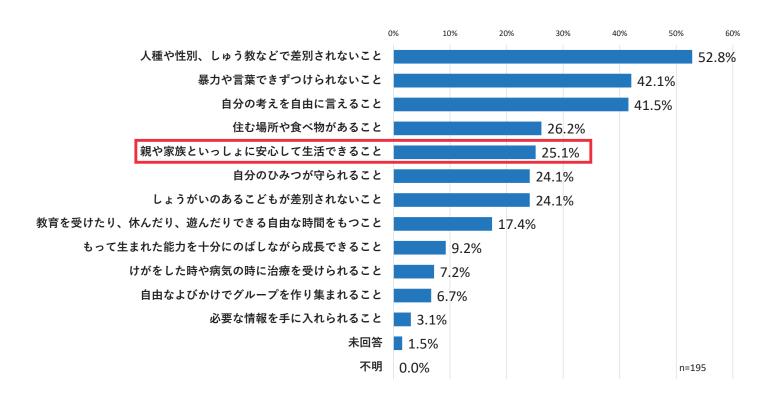
自分の居場所 若者



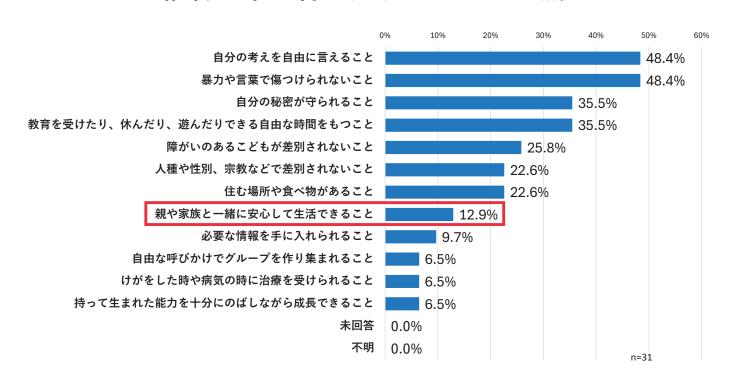
アンケートの回答概要 **こどもの権利の中で特に大切なもの 小学生**



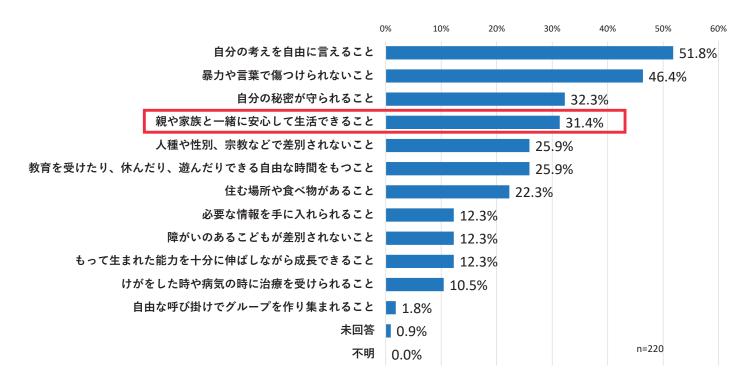
こどもの権利の中で特に大切なもの 中学生



アンケートの回答概要 **こどもの権利の中で特に大切なもの 17歳**

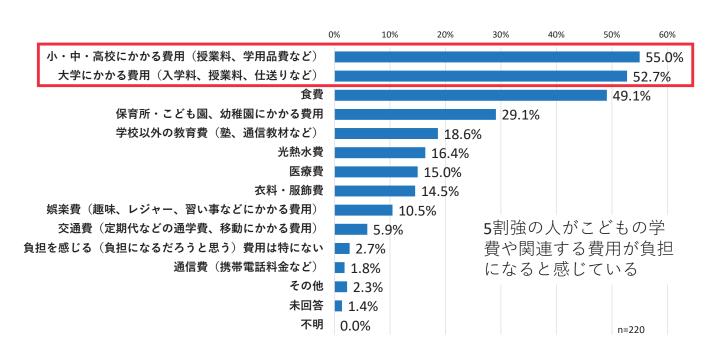


こどもの権利の中で特に大切なもの 若者



アンケートの回答概要

子育てにかかる費用の中で、あなたが負担を感じている (または負担になるだろうと思う)費用は何か 若者



2. ヒアリング調査の概要

1 こどもへのヒアリング

- ①こどもフェスタ実行委員(小学生) 12名 令和6年6月15日
- ②こどもフェスタ参加者 98名 令和6年7月7日
- ③学童クラブ 53名 令和6年7月17日
- ④こどもの居場所 19名 令和6年7月31日

2 保護者へのヒアリング

- ①こどもフェスタ 101名 令和6年7月7日
- ②夏の屋台村 35名 令和6年7月20日
- ③みのわテラスイベント 59名 令和6年8月3日

3. 子育て支援関係者へのヒアリング

- ①教職員 11名 令和6年7月29日~8月2日
- ②学童クラブ指導員 4名 令和6年7月17日
- ③障がい児福祉サービス事業所職員 3名 令和6年8月5日から9日
- ④子育て支援センター 2名 令和6年8月

こどものヒアリング内訳

こどもフェスタ来場者	98

フェスタ実行委員	2年生	2
	3年生	1
	4年生	2
	5年生	7
	合計	12

1年生	10
2年生	7
3年生	17
4年生	9
5年生	10
合計	53
	2年生 3年生 4年生 5年生

みんなの学校	2年生	6
	3年生	3
	4年生	2
	5年生	4
	6年生	3
	高校1年生	1
	合計	19

ヒアリング結果の概要

別紙にとりまとめたので、そちらをご覧ください

3. 地域のアンケートの概要

各区の取り組み状況に関するアンケート

対象:15区 回答:14区

実施時期:令和6年7月5日~7月26日

箕輪町商工会会員へのアンケート

対象:会員610名

回答:61名

実施時期:令和6年7月10日~7月26日

3. 地域のアンケートの概要

各区の取り組み状況に関するアンケート 調査結果概要

■おもな取組み

対象:小学生対象のものが多い(全区民、小中学生、未就学児)

内容:年中行事(どんど焼き、まんど振り、天神様)

季節行事(納涼祭、収穫祭等)

学習支援 (寺子屋教室等)

3. 地域のアンケートの概要

箕輪町商工会会員へのアンケート 調査結果概要

■おもな取組み

従業員家族…イベント・行事

従業員本人…休暇・手当がおもなもの(育児・看護休暇、有休シェアリング、母子通勤、労働時間の配慮)

地域のこども・子育て家庭…安心の家、イベント、寄付、協賛

■ あれば従業員・子どもに参加してもらいたいもの ツアー (バス・自転車・グルメ)

自然体験、お祭り、スポーツ等

4. その他調査の概要

「箕輪町こども条例(仮称)」の制定に向けたこどもに対するアンケート

1 対象者

- ① 町内小学校に通学する小学5年生及び6年生
- ② 箕輪中学校に通学する中学1年生~3年生
- ③ 平成17年4月2日~平成20年4月1日生まれの方(高校生年代)

2 実施時期

令和5年7月14日(金曜日) から 令和5年8月3日(木曜日) まで

3 実施方法

【対象者(1)(2)】

町で回答フォームを作成し、児童生徒の1人1台PC(Chromebook)から本人がアンケートに回答

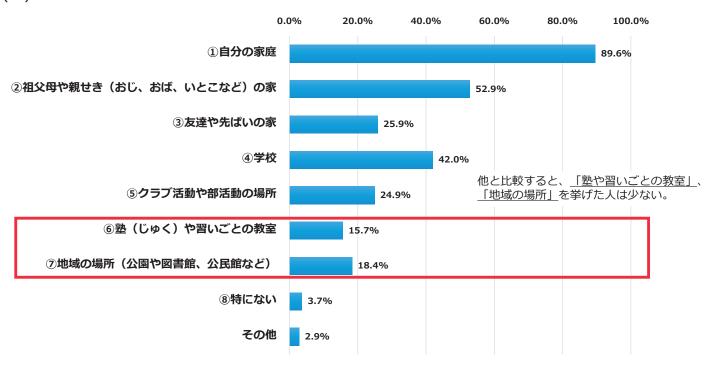
【対象者③】

町で回答フォームを作成し、二次元コード付きのお知らせを郵送

アンケート結果(抜粋)

2 各問への回答について

(1)安心できる場所はどこですか。(複数回答)



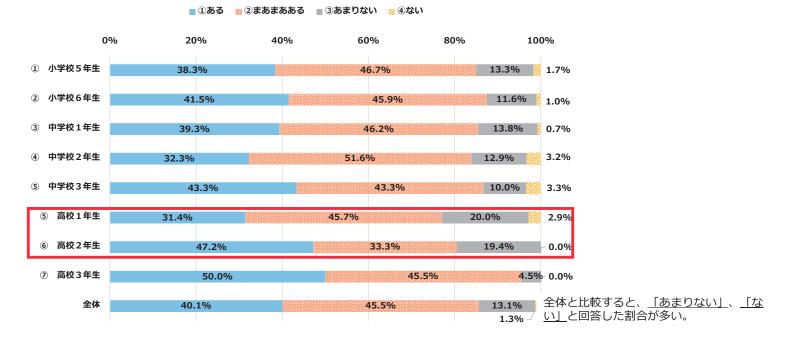
「その他」の内訳:「自分の部屋」、「ベッド」、「風呂」、「外が、落ち着く」、「一人になれる所」等

アンケート結果(抜粋)

2 各問への回答について

(2) 自分に関わるものごとを決めるときに、自分の意見や考えをはっきり相手に伝える機会はありますか。

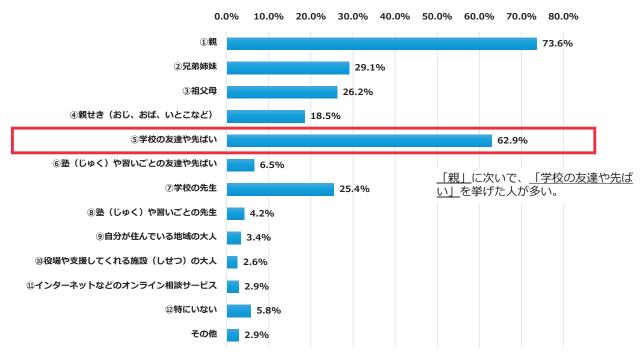
自分ではうまく伝えられないときに、代わりに伝えてくれる大人がいる場合を含みます。



アンケート結果(抜粋)

2 各問への回答について

(5) 困ったときや悩んだときに、気軽に相談できる人は誰ですか。 (複数回答)



「その他」の内訳:「ネッ友」、「友達」、「ペット」、「スクールカウンセラーの先生」、「彼女」 等

4. その他調査の概要

「箕輪町こども条例(仮称)」の制定に向けた子育で家庭に対するアンケート

1 対象者

- (1) 妊婦及びそのパートナー
- (2) こどもをもつ保護者

2 実施時期

令和5年7月14日(金曜日) から 令和5年8月3日(木曜日) まで

3 実施方法

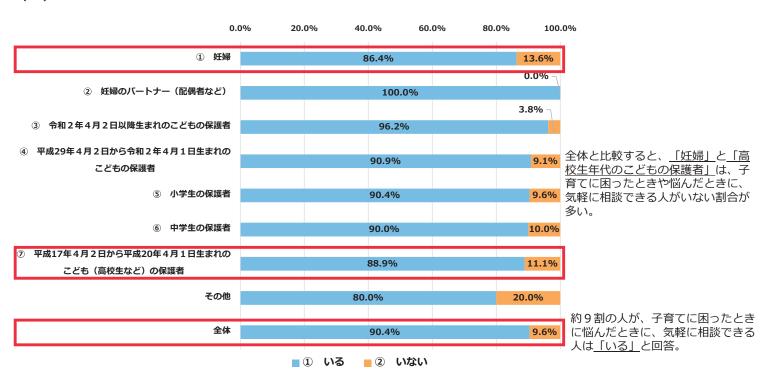
町で回答フォーム(LoGoフォーム)を作成し、「子育てアプリ♡みのわっこby母子モ」、「コドモン」(保育園保護者向け)、「みのわメイト」(各小学校・中学校)により回答フォームを配信。

日本語の回答フォームに加え、英語版、ポルトガル語版のフォームも同時に配信。

アンケート結果(抜粋)

2 各問への回答について

(1)子育て(妊娠期間中を含む)に困ったときや悩んだときに、気軽に相談できる人はいますか。

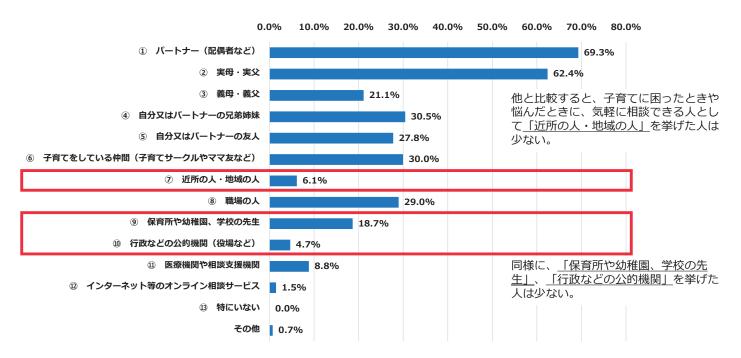


アンケート結果(抜粋)

2 各問への回答について

(2)子育て(妊娠期間中を含む)に困ったときや悩んだときに、気軽に相談できる人は誰ですか。(複数回答)

※子育て(妊娠期間中を含む)に困ったときや悩んだときに、気軽に相談できる人が「いる」人のみ集計



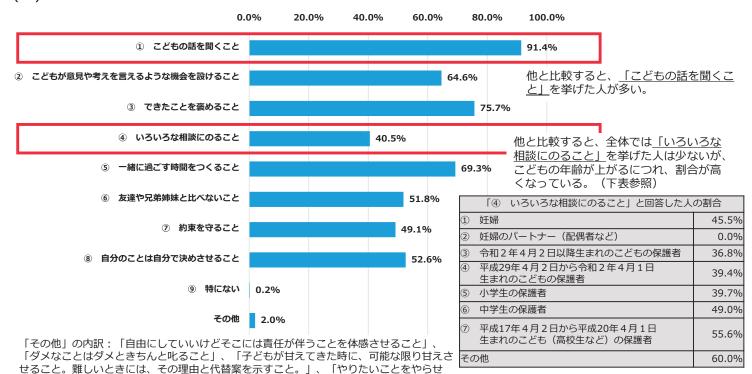
「その他」の内訳:「学生時代の友人」、「上の子供達」 等

アンケート結果(抜粋)

2 各問への回答について

るし

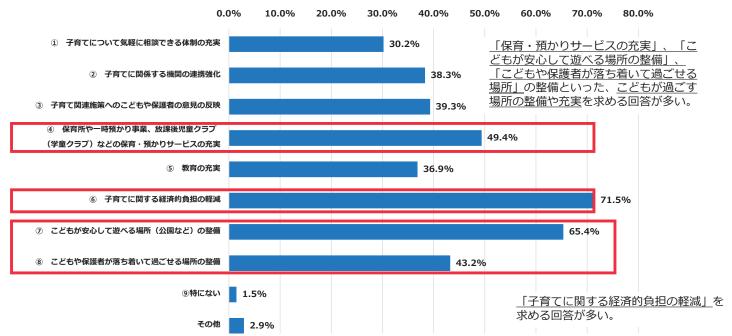
(3) こどもの主体性を尊重するためにやるべきことは何だと思いますか。 (複数回答)



アンケート結果(抜粋)

2 各問への回答について

(4)安心して子育てをするために、町や行政にはどのようなことをやってほしいですか。 (複数回答)



「その他」の内訳:「乳幼児のいる家庭が気軽に手助けを受けられる制度の充実。」、「行政と地域住民と学校と民間企業と保護者の連携。意見交換会を定期的にする。」、「学童はただ預かっているのが現状ですが、週1回民間の授業、運動や造形などプロから学ぶ時間を作ってほしい」、「親への教育。親もこどもと同じで初めて親になって分からないことだらけで未熟な状態からこどもと共に成長していく。こどもへの教育と同じかそれ以上に親への教育が必要だと思う。」 等

4. その他調査の概要

『第三期子ども・子育て支援事業計画策定に係る量の見込み調査アンケート』

1 対象者

町内に在住する未就学児(平成29年4月2日以降に出生した者)の保護者 対象児童1人につき、1回答とし、1,191人を対象

2 実施時期

令和6年3月15日(金)~令和6年3月29日(金)

3 実施方法

以下方法にてLogoフォームによる回答フォームの配信

- ・町内保育園通園児童の保護者に対しては、コドモンで通知
- ・町内保育園に通園していない児童の保護者に対しては、郵送にて通知

4 回答状況

回答数 327件(回答率 27.5%) 有効回答数 306件(回答率 25.7%)

4. その他調査の概要

『第三期子ども・子育て支援事業計画策定に係る量の見込み調査アンケート』

調査結果概要(速報值)

09 日ごろ、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか

⇒いずれもいない…31名

Q10 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。

⇒いない/ない…28名

Q15 「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。 [母親]

 \Rightarrow

- 1 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)…10名
- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい…37名
- 1年より先、一番下の子どもが○歳になったころに就労したい…38名

※速報値のため、今後数値が変わる可能性もあります